

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公表番号】特表 2013-520446 (P2013-520446A)

【公表日】平成 25 年 6 月 6 日 (2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報 2013-028

【出願番号】特願 2012-554099 (P2012-554099)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 15/00 Z N A G

C 0 7 K 16/28

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 20 日 (2014.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効量の上皮膜タンパク質 2 ( E M P 2 ) 阻害剤を含む、湿性加齢性黄斑変性 ( A M D ) を治療するための医薬組成物。

【請求項 2】

前記 E M P 2 阻害剤が抗 - E M P 2 抗体である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記 E M P 2 阻害剤が E M P 2 s i - R N A である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

眼内経路でまたは局所的に投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

眼内経路で投与される、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

有効量の E M P 2 阻害剤を含む、患者の眼の病気を治療するための医薬組成物。

【請求項 7】

前記眼の病気が、糖尿病網膜症、角膜血管新生、脈絡膜血管新生、毛様体炎、ヒッペル - リンダウ病、未熟児網膜症、翼状片、ヒストプラズマ症、虹彩血管新生、黄斑浮腫、緑

内障関連の血管新生およびブルチャー網膜症である、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

有効量の上皮膜タンパク質 2 (EMP2) 阻害剤を含む、眼の血管内皮成長因子 (VEGF) の発現を抑制するための医薬組成物。

【請求項 9】

前記 EMP2 阻害剤が抗 - EMP2 抗体である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記抗 - EMP2 抗体が重鎖および軽鎖を含み、前記重鎖は 3 つの相補的決定領域 (CDR) : HCDR1、HCDR2 および HCDR3 を含み、前記軽鎖は 3 つの CDR : LCDR1、LCDR2 および LCDR3 を含み、HCDR1 は配列番号 8 を含み、HCDR2 は配列番号 9 を含み、HCDR3 は配列番号 10 を含み、LCDR1 は配列番号 12 を含み、LCDR2 は配列番号 13 を含み、LCDR3 は配列番号 14 を含む、請求項 2 または 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記抗体が二重特異性抗体である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記 EMP2 阻害剤が EMP2 si-RNA である、請求項 3 または 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記 EMP2 si-RNA が標的配列を含み、前記標的配列が配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5 または配列番号 6 を含む、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記 EMP2 si-RNA が、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5 および配列番号 6 からなる群から選択される標的配列を含む、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

有効量の少なくとも 2 種の上皮膜タンパク質 2 (EMP2) 阻害剤を含む、湿性加齢性黄斑変性 (AMD) を治療するための医薬組成物。

【請求項 16】

前記少なくとも 2 種の EMP2 阻害剤の一種が抗 - EMP2 抗体であり、かつ前記少なくとも 2 種の EMP2 阻害剤の一種が EMP2 si-RNA である、請求項 15 に記載の医薬組成物。